

 いわみざわ公園バラ園 [www.iwamizawa-park.com](http://www.iwamizawa-park.com)

### ジャガイモの花

ジャガイモの種芋を植えてから1ヶ月と少し経った頃、ジャガイモに花を付け始めました！当たり前のように、意外とジャガイモにも花が咲くことを知らない人もいないのではないのでしょうか？ジャガイモはナスやトマト、キュウリのように、花の後にできる実を収穫するわけではないので、花が咲く事自体が収穫量に直接繋がるわけではありません。中には体力の消耗を減らすために、この花を摘むという方法もあるそうです。ジャガイモに限らず、植物は花を咲かせ実（種）を付ける時に、体力を消耗します。そのため、花を摘み取った方が、体力を消耗せずに済みます。花を摘む際のデメリットとしては、摘んだ部分から病原菌が入り込んで病気になってしまうリスクがあるそうです。体力の消耗も少なく、病気になってしまうリスクがある、ジャガイモ自体の収穫量もそれほど変わらない。という理由から、摘まない栽培方法がほとんどです。（ながやす）

### 雑草対策のコツ

人間が意図して植えたものではない植物は、自宅や公共の場では雑草といわれます。タンポポ、スギナ、ヒメオドリコソウ、スズメノカタビラ、オオバコ、ヒメジョオン、ノボロギク、イヌガラシ etc. これらは岩見沢バラ園でもお馴染みの雑草の一部なので、おそらく雑草でお困りの皆様のお宅にもいるのではないのでしょうか。さて、雑草対策ですが、コツは種子をつける前に花を摘むことです。雑草は季節が来たら一気に咲いてしまいます。その時株ごと抜く作業が間に合わない時は、とにかく毎日咲く花だけを摘んで捨ててください。そして株ごと抜くのは雨が降った次の日に。地面が濡れている時ならどんなに硬い土のところでも抜きやすくなります。無理して日照りの日に乾いた土地に挑む労力の半分以下で草取りが進みます。どうぞ無理せず効率がよくて気持ち良い草取りでスッキリできますように。あ、最後にスギナですが、見つけたらマメに地上部だけ抜き取って、光合成をさせないでください。（きのした）

### 今月の便り



### ネジバナ

ネジバナは日当たりの良い背の低い草地などに生育するラン科の多年草です。高さは10センチ～30センチぐらいで7月～9月にごく小さなピンク色の花を細長い花径の周りにラセン状に並べて咲いていきます。面白いことに右巻きと左巻きがありその比率は1対1といわれています。また、途中でねじれ方が変わる個体や全くねじれないものもあるそうです。残念ながら私はどれも見つけられていません。まれに白花や花色が濃いものがあり山野草の好きな人に珍重されているそうです。ネジバナの種はとても小さく自分だけの力では発芽できないのでネジバナに共生する菌から栄養をもらって発芽します。その共生菌はイネ科の植物に多くあるため芝生の中や土手などに成長することが多くなり芝刈や草刈りされ去年は咲いていた場所に今年は1本の花も見られないなんてことがあるのです。（いとう）

\*「今月の便り」次ページへつづく⇒

## 秋の七草・ハギ

万葉集にも数多く登場するハギは「萩」という漢字で表されているように秋を代表する植物のひとつです。道内に自生するヤマハギもそのひとつで、この花が咲き終わると、葉が黄金色に染まり秋が深まっています。これとは別に、近年は大型ガーデンや公共緑化用として使われるようになったミヤギノハギがあります。これは本州に自生するケハギから派生したとされ、赤花の他に白花種があります。ハギはいずれも冬に地上部が枯れるので、秋遅く地際から刈り取ります。ただし年々株が大きくなるので狭い庭には不向きです。当園ではオールドローズのエリアを囲むように、2種類のミヤギノハギが植えられていますので、是非ご覧になってください。（かわはら）

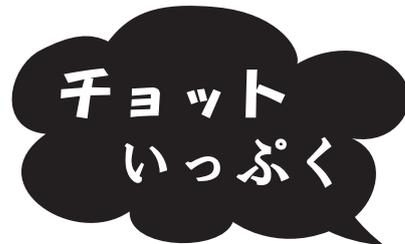


## 9月は病害虫に注意！

猛暑が続く天候に恵まれたこの時期は、バラの病気では黒星病、うどん粉病が蔓延してくる時期になり、害虫はコガネムシ、カミキリムシ、チュウレンジハバチ、イラガなど多種類の害虫が活動開始の時期です。残暑厳しく、夜温が下がると、バラの体力が回復して新芽が出始めると同時に、病原菌や害虫の活動も活発になります。夜行性の蛾類はサナギから羽化して産卵も始めますので要注意です。病気も害虫も日々の見廻り点検で早期に発見して対処しましょう。秋遅くの追肥は、成長を維持させて耐寒性を弱めてしまうので注意します。夏に旺盛に生育した鉢薔薇などは鉢とのバランスが悪くなっているため、倒れないように枝を整理するのも病害虫から株を守るために必要な作業となります。（たかはし）

## スイカの収穫期

スイカは授粉を行ってから大玉スイカは約 45 日、小玉スイカは約 35 日で収穫適期を迎えます。果実が付いている節の巻ひげが茶色くなり枯れた頃が収穫時期の目安です。ところがこの巻ひげがでない時があります。そこで、果実を叩くとボンボンと濁った音がするようになったり、花落ちのへこみ（お尻）が深くなることも目安となります。美味しくできたスイカ、来年も作りたいが連作ができないと、いろいろな書物やネットなどで記載されていますが、家庭菜園は植える場所が狭いので、長く伸びるつる性の植物、場所を変えることができないという方に、とっておきの情報お教えいたします。スイカの植栽時、直径 80 ~ 100cm 程の円形に 20cm 程の盛土をしてその上に植えますが、この盛土の土をウリ科以外の野菜を植えた土と交換します。この際、盛土部分とその下の土 15cm も一緒に取り換えると、同じ場所に植えても連作障害にはあまり影響しません。



ひとつき  
ひとバラ



文：田中 伸枝  
(いわみざわ公園バラ園)



## 第八十五回

ガリガローズ

シャルラッハグルト

Scharlachgult

作出国：ドイツ

作出者：Kordes

作出年：1952年

ハーディネスゾーン：Z6

一季咲き

交配：Poinsettia(HT) × Alika(Sp)

シャルラッハグルトは、ドイツ語で『緋色の輝き』という意味。混じりけのないスカーレットで一重咲きの大輪です。その花の中心には眩しいほどの黄金色の蕊をもち、鮮やかさをより一層引き立てています。花びらが多くてクシュクシュと可愛らしく乙女～でブリっ子～な周りのオールドローズ達とは違ってあどけない可愛さがありますね。一重咲きで大輪といえば花卉をすぐに落としやすいイメージですが、花卉はしっかりとっていて花保ちは良いです。花つきも良く満開時には株を覆うほどたくさん花をつけてくれて、見ていると何だか元気がもらえるバラです。高さは人の背丈ほど(150～200cm)、幅は高さよりも若干横張りとなります。庭のバラの一つとしてではなく、生垣や背景、または低木の庭木のような扱いにしたほうが良さを活かせるような気がします。もちろんアーチなどに仕立ててつるバラのようにすることも可能です。剪定は老化枝を抜く程度で大丈夫です。秋には小リンゴのようなゴロゴロとしたローズヒップが楽しめます。

作出者はお馴染みドイツの Kordes・2代目の Wilhelm J. H. Kordes II 氏。寒さに強い R. kordesii を作ったお方で、当園ではなくてはならない系統となっています。足

を向けて寝られません(笑) Kordes はモスローズの 'Black Boy' を作出していた覚えがあったので、近代にオールドローズを作っていることに驚きはしませんでした。ちなみに 'Black Boy' を作出したのは3代目の Reimer Kordes 氏です。実に多才な親子ですね。シャルラッハグルトに話を戻しますが、ハイブリッドティーの 'Poinsettia' が母親で、父親は 'Alika' という R.gallica の交雑種です。'Alika' は R.gallica splendens の異名という説もあります。ですので当園の樹名板にならいガリカローズとしてご紹介していますが、厳密に云うとハイブリッドガリカになります。元々、アメリカバラ会が出版する『MODERN ROSES V』にシュラブローズとして掲載されていましたが、Kordes のバラの本にならいハイブリッドガリカに分類変更されました。もっと言うと、当園でオールドローズの小径に植栽はしていますが、この品種がオールドローズに分類されるかも正直微妙です。バラはヒトに愛されすぎたためにたくさんの交配が繰り返され、ほんとうに分類が難しくなってきました。『本当はこうだ!』と熱く議論するのも大切ですが、バラの多様性を受け入れるおおらかな気持ちも必要ですね。

## 今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 9月12日(日) 13:00~15:00 ミニ盆栽を仕立てよう  
料金: 材料代 2,000円 定員: 18名 講師: 君島 信博さん 草つ月
- 9月18日(土) ・10月2日(土) 13:00~15:00  
バラ管理スタッフのローズツアー・秋  
料金: 無料 定員: 18名 講師: バラ園スタッフ
- 9月25日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑦ 至高の秋バラを巡る。  
料金: 無料 定員: 18名 講師: 工藤 敏博さん ローズグローワー
- 9月26日(日) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方  
料金: 無料 定員: 18名 講師: 伊藤 幸秀さん 日本自然保護協会
- 10月3日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント  
料金: 材料代 1,000円 定員: 18名  
講師: 大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話: 0126-25-6111 ホームページ: <http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方

× 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限を設けているため、定員に達してしまいお申込みを受け付けられないことが頻繁にあります。連絡なしの欠席はお申込みをされたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。